

《履修上の留意事項》 主要な講義資料は初日に配布するので、それ以降の講義に必ず持参すること。
補足説明資料は適宜配布する。

《担当者名》 歯学部教授 / 三浦 宏子

【概要】

個人及び集団に対する歯科疾患の予防および口腔保健の向上を図るための知識および技術を理解し、この問題の解決に必要な具体的な方策について学ぶ。

【全体目的】

これまで学んできた「口腔衛生学」の知識について再確認し、口腔衛生士の主要な業務である歯科疾患の予防に役立つ口腔衛生管理および歯科保健指導のための具体的な手法を学ぶ。

【学修目標】

一般目標

すでに低学年で学んだ口腔衛生学を基盤として、口腔衛生に対する理解をより一層深める。

行動目標

歯科衛生士として、口腔衛生学を十分習得し、卒業に値する総合的知識を身につける。

到達目標

歯科衛生士として、単に歯科治療の補助を行うのみならず、個人、集団に対して疾患の予防、健康増進に寄与するための基盤となる知識を身につける。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	歯・口の健康と歯科疾患の予防	歯・口の健康保持・増進のことを口腔保健といい、そのためには3つの時期、5つのステップがあることを学ぶ。	三浦 宏子
2 3	口腔の不潔因子と歯口清掃	口腔の不潔因子として歯の付着物・沈着物があり、その清掃法に、自然的、人工的および手術的清掃法があることを理解する。	三浦 宏子
4	歯磨剤	歯磨剤の分類、効果について理解する。	三浦 宏子
5	う蝕の疫学	齲蝕の発生要因について理解を深める。 齲蝕の有病状況の動向について、公的統計データに基づいて理解を深める。	三浦 宏子
6	齲蝕リスク評価	齲蝕リスク評価の意義、内容について理解を深める。	三浦 宏子
7 8	齲蝕の予防	フッ化物応用による齲蝕予防とポピュレーションアプローチを理解する。 関連する評価指標について理解を深める。	三浦 宏子
9	歯周疾患の疫学	歯周疾患の有病状況の動向について、公的統計データに基づいて理解を深める。	三浦 宏子
10	歯周疾患の予防	歯周疾患予防におけるセルフケア、プロフェッショナルケア、コミュニティケアを理解する。 関連する評価指標について理解を深める。	三浦 宏子

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

卒業試験 100%

【教科書】
配布プリント

【参考書】
歯科衛生士書き込み式学習ノート 社会歯科系科目編 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 医歯薬出版
歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学 医歯薬出版

【備考】
問題演習を適宜行う。
授業後には必ず復習すること。

【学修の準備】
・ 予習（40分）：2年次までの教科書「保健生態学」にて事前に講義関連事項を確認する。
・ 復習（40分）：講義内容や問題演習の内容を振り返り、重要知識を再確認する。

【実務経験】
三浦宏子（歯科医師）

【実務経験を活かした教育内容】
これまでの歯科医師としての実務経験を活かし、歯科衛生士の業務に必須である口腔衛生学に関する専門知識を確認するとともに、最新の知見を得る機会を提供する。